

大阪はデザインでシビックプライドに貢献できるか？

～インダストリアルデザイン史から考える～

日 時：2017年1月31日（火） 19時～21時（懇親会含む）

場 所：会場／大阪産業創造館6階 会議室 B

大阪市中央区本町1-4-5 地下鉄「堺筋本町駅」より徒歩約5分

<https://www.sansokan.jp/map/>

参加費：2,000円（軽い懇親会費用を含む）

申し込み：JIDA 関西ブロック事務局までお申込みください（担当：釜田）

メール：jida-ka@jida.or.jp tel：06-6615-5572 fax：06-6615-5573

これまで大阪はどのように日本のデザイン界に貢献してきたのでしょうか。

このほど芸術工学会で出版された『日本・地域・デザイン史Ⅱ』の中で、大阪のデザイン史をまとめました。

そのなかで見えてきたのが、大阪が様々なデザインの先進者として貢献してきたのにも関わらず、その評価、検証がされていないこと、そして私たち大阪デザイン関係者がもっと語る必要があるということでした。

今回は2021年オープンを目指している大阪新美術館の建設準備室で、インダストリアルデザイン・アーカイブス研究プロジェクト

<http://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu120/artrip/idap/>

を担っておられる植木啓子氏をお招きし、大阪のデザインアーカイブズについてお話頂き、これからの大阪のシビックプライド（※）について参加の皆さんと話し合いたいと思います。

ご関心のある男性、女性、どうぞお集まり下さい！

メインスピーカー：植木 啓子氏 大阪新美術館建設準備室

進 行：藤本 英子 JIDA 理事 京都市立芸術大学教授

※シビックプライド：都市に対する市民の誇り

『日本・地域・デザイン史Ⅱ』美術出版 芸術工学会地域デザイン史特設委員会編

<http://www.bigaku-shuppan.jp/book/043RegionalDesign2.html>

主 催：公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会（JIDA）

関西ブロック フォーラム委員会

